キュート

加羅古呂庵 一泉

キュート

等を習い始めて間もない子どもたちのために、押し手や細かい手がない曲があるとよいとのサジェスチョンを受けて作曲しました。小さい子が成長して、ひとり立ちしていく様子をタンポポの変化に重ねて「たんぽぽ咲いた」「ふわふわれま」「風に旅立つ」の3つの部分から構成しましたが、通しで演奏してもいいですし、1つ、2つを選んで独立した曲として演奏することも可能です。また、等の二重奏曲としても演奏できますし、十七絃・三絃がサポートに入って四重奏曲にするとより楽しい曲になるでしょう。いろいろと機動的な演奏ができるように作りました。

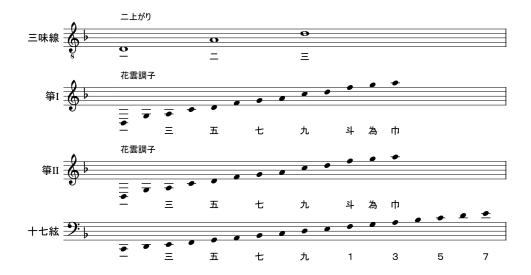
等のパートは、基本的に 8 分音符までとしましたが、単調に感じられる面もありますので、経過音的に 16 分音符を入れたところがあります。8 分音符と 16 分音符のからみ合いで、細かい手のように聞こえるかもしれません。

タンポポの黄色い花が一斉に咲いて、やがて白い綿毛に変わり、風に乗って飛んでいく情景は、あらためて説明するまでもないでしょう。春になるとタンポポは至るところに咲いていて、街なかではセイヨウタンポポが多いですが、この曲の題材にしたのは、街はずれの谷あいの地に咲くカントウタンポポの群落です。少し湿り気が感じられるその土地は、養分が豊富なのでしょうか、タンポポがのびのびと大きな花を咲かせていました。

※縦譜(三絃譜)につきましては、筝 I・筝 II のパートをまとめて補助的に記載しています。正確には、加羅古呂庵ホームページの「作品リスト」より五線譜 (スコア)をご参照ください。



加羅古呂庵ホームページ



運指、奏法については、適宜工夫していただいてけっこうです。

キュート Cute













キュート Cute

キュート Cute

6





